

平成 25 年度事業報告

1. 計量思想の普及と振興

1-1. (一社)京都府計量協会計量功労者表彰 (協会理事長表彰)

平成 25 年 6 月 21 日、定時社員総会に引き続き、平成 25 年度(一社)京都府計量協会「計量功労者表彰式」が開催された。各部会長の推薦を受け、平成 25 年度第一回理事会の審議を経て 17 名の方々が受賞された。

長年にわたり一般計量、環境計量分野に従事、業界の発展に貢献されたことが評価され、木村理事長から表彰状と記念品が手渡された。また受賞者を代表して(株)イシダ 清水泰氏が謝辞を述べられた。

また、長年、京都府の計量の普及、振興に貢献された受賞者に対し、ご来賓の京都府計量検定所 小中所長、京都市計量検査所 西村所長から祝辞と励ましのお言葉をいただいた。



1-2. 京都府計量功労者表彰 (知事表彰)

平成 25 年 11 月 29 日、京都ガーデンパレスで、平成 25 年度京都府計量功労者等表彰式ならびに中小企業関係定例表彰式が開催され、当協会からは、向山達也氏、源田幹雄氏、倉田康夫氏、小笠原憲二氏、大井悦雅氏の 5 名の方々に山田京都府知事から表彰状と記念品が授与された。

また山田啓二京都府知事からお祝いと労いの言葉があり、京都の産業基盤を支える中小企業支援に精一杯尽力する旨のご挨拶をいただいた。また、来賓代表の一人として当協会木村理事長も受賞者に対し祝辞を述べられた。

上記計量功労者 5 名の受賞者の方々は、それぞれの分野で長年にわたって計量分野に貢献する一方、(一社)京都府計量協会の運営にも大いに貢献されたことが京都府から評価されたものである。



1-3. 京都府計量検定所、京都市計量検査所共催「夏休み親子計量教室」等

「将来を担う子供たちに計量に興味を持って欲しい！」この願いを込めて、京都府計量検定所、京都市計量検査所共催の「夏休み親子計量教室」が開催された。小学生を対象に、8 月 1 日～7 日までの一週間、前半は京都市計量検査所、後半は京都府計量検定所を会場として、63 組 139 名の親子が参加者された。親子の笑顔に接して、主催者側の関係者も大いに遣り甲斐を感じた企画であり、当協会もこれに協力参加した。



連日、午前・午後の部の二回に分かれ約 2 時間、計量業務に関する説明、施設見学、計量模型の工作、計量クイズなど、職員の方々の工夫を凝らした内容で子供たちにも大好評であった。

又、秋には、府下市町村が開催する「産業祭」、「市民まつり」等に京都府計量検定所が「計量」に関する啓発活動を実施、当協会もこれに協力参加した。平成25年度は、綾部、向日市、大山崎、京田辺の四カ所で実施した。

1-4. 「京都計量ニュース」の発行

平成26年1月8日開催の(一社)京都府計量協会、新年年賀交歓会にあわせて「京都計量ニュース」第5号を発行した。当日、年賀交歓会に出席された方々に配布すると共に、後日、当計量協会会員全員、他府県計量協会等に配布した。(発行部数400部)

1-5. 計量に関する講習会、研修会の開催・・・3.の項参照

1-6. ホームページによる事業活動のPRと情報開示の実施

平成25年度、当協会ホームページをリニューアルし、情報開示を充実、計量啓発に努めた。

2. 計量機関としての事業活動

2-1. 平成25年度京都府受託業務

京都府からの受託事業は二期二年目に入った。今年度実施した京都府指定定期検査機関、指定計量証明検査機関指定検査機関としての業務量および検定補助業務実績量は下記のとおりである。

(1) 検定に係る観測業務 (検査個数)

	平成25年度	平成24年度
・タクシメーター装置検査	10,505	10,022
・燃料油メーター	62	42
・質量計	85	102
・ガスメーター	0	0
・液化石油ガスメーター	0	0

(2) 基準器検査に係る業務 (検査個数)

	平成25年度	平成24年度
・基準分銅	1,264	1,214
・基準タンク	2	21
・基準ガスメーター	0	0
・その他	0	3

(3) 定期検査業務 (検査個数)

	平成25年度	平成24年度
・はかり, 分銅・おもり	5,179	4,810

(4) 計量証明検査業務 (検査個数)

	平成25年度	平成24年度
・質量計	12	4

(5) 実用基準分銅の質量調整・自主検査 (検査個数)

	平成25年度	平成24年度
・分銅	1,533	1,510

2-2. 平成25年度京都市受託業務

平成24~26年度の三年にわたる京都市定期検査受託業務第一期の二年目を無事終了した。今年度は奇数年に当たり、東山、北、伏見、上京、中京の五区が検査対象であった。京都市計量検査所の協力、指導を仰ぎ問題なく業務を完了することができた。平成25年度の受託業務は次のとおりである。

(1) 定期検査業務（検査個数）

	平成 25 年度	平成 24 年度
・はかり、分銅、おもり	7,344	7,601

2-3. 日本郵政グループの計量管理業務受託事業

平成 25 年度も京都府内に所在する日本郵政グループ事業所の計量管理業務を（一社）日本計量振興協会から受託した。（一社）日本計量振興協会検査業務資格を有する協会所属計量士 9 名で、府内にある郵便局、簡易局、旧集配センター253 局に配置されたはかりの定期検査を実施し、特に大きな問題もなく無事終了した。

2-4. 適正計量管理事業所の計量管理業務受託事業

計量管理業務委託契約を締結している適正計量管理事業所で、計量器の検査および管理業務を実施した。

2-5. 代検査事業

京都府の方針に従い、当該年度の定期検査未受検解消のために代検査を実施した。

2-6. コンプライアンスへの取組み

最上委員が病氣療養のため任期途中で退任され、新たに長谷川弁護士に委員を委嘱した。また、平成 25 年 12 月 25 日、新委員を加えて平成 25 年度の委員会を開催した。委員から運営に関するアドバイスをいただき理事会に報告すると共に、委員から要望のあった業務内容把握のため検査現場の見学を実施した。

3. 計量技術・知識向上のための研修会、講習会および情報交換事業

3-1. 計量士部会夏期例会（平成 25 年 5 月 11 日、於ホテルルビノ京都）

⇒部会活動推進事業（計量士部会）の項参照

3-2. 当協会所属嘱託計量士の研修（平成 25 年 9 月 21 日、於メルパルク京都）

計量法の改正、JIS 化へ移行、3 級はかりの普及等、計量士にも求められる知識、技能の習得を意図して（一社）日本計量振興協会主催の「計量士のためのリフレッシュ研修会」に現業の嘱託計量士 20 名が参加、知識を深めた。内容は下記のとおりである。

- 1)計量法令、 2)国際規格 ISO9001 と計量管理、 3)商品量目の管理
- 4)計量計測トレーサビリティ制度の概要、 5)非自動はかり使用中検査

3-3. 計量計測業務担当者のための研修会（平成 25 年 7 月 26 日、於ハートピア京都）

⇒部会活動推進事業（計量管理部会）の項参照

3-4. 中小企業向け測定基礎研修会（（一社）日本計量振興協会との共催）

⇒部会活動推進事業（計量士部会）の項参照

3-5. はかり検査研修会（平成 25 年 12 月 6 日、於㈱イシダ本社）

「3 級はかり」が普及しつつあるが、「3 級はかり」に接する機会が必ずしも多くないため。嘱託計量士への研修チャンスを増やすことを目的とし、㈱イシダのご厚意で電子式はかり講習会を開催した。商品展示室を利用して 3 級はかりの実習ができ、成果の多い研修会となった。午後からは、場所を変えて、嘱託計量士による計量法の勉強会も実施した。



3-6. 計量士部会冬期例会（平成 25 年 12 月 6、於京都平安ホテル）

⇒部会活動推進事業（計量士部会）の項参照

3-7. 分銅校正講習会（平成 26 年 2 月 7 日、於ハートピア京都）

⇒部会活動推進事業（計量士部会）の項参照

3-8. 主任計量者講習会（平成 25 年度 2 回開催）

⇒部会活動推進事業（計量証明部会）の項参照

3-9. 京滋合同役員会

⇒部会活動推進事業（計量証明部会）の項参照

4. 部会活動推進事業

各部会が実施する講習会・研修会等の事業に積極的に協力すると共に、部会間交流の機会を増やし、協会会員の共通意識を高めることに努めた。

4-1. 計量器工業部会

(1) 見学会の開催（平成 25 年 10 月 17 日）

昨年に引き続き、計量器工業部会と環境計量証明部会で共催した。部会間交流を図るために他部会にも声をかけ募集した結果、33 名が参加した。

今年度は、バスを使った遠征で、かつ内容的にも欲張った企画であったが、トラブルもなく、「中身の濃い面白い見学会だった」と多くの参加者の方からの好評の声をいただくことができた。



訪問先：

- ・ ㈱東海テクノ：中部地区で活躍する環境計量証明事業会社。
- ・ 秤乃館（はかりのやかた）：古くは室町時代から現代に至る約一万点にも及ぶ計量関係の機器を個人収集家が集められた貴重な展示館。
- ・ 伊勢神宮内宮訪問

4-2. 計量管理部会

(1) 計量・計測業務担当者のための研修会（平成 25 年 7 月 26 日、於ハートピア京都）

主に適正管理事業所で計量・計測業務に携わっている実務担当者を対象に計量管理の基礎知識の習得を目的に開催している。募集枠を広げた関係で、他部会、協会外の参加者も多く、今年度は 24 名の参加者となった。

講師は、河原計量士部会長、吉川理事が担当、京都府計量検定所からは河村眞也主幹にご協力をいただいた。



・ 研修内容

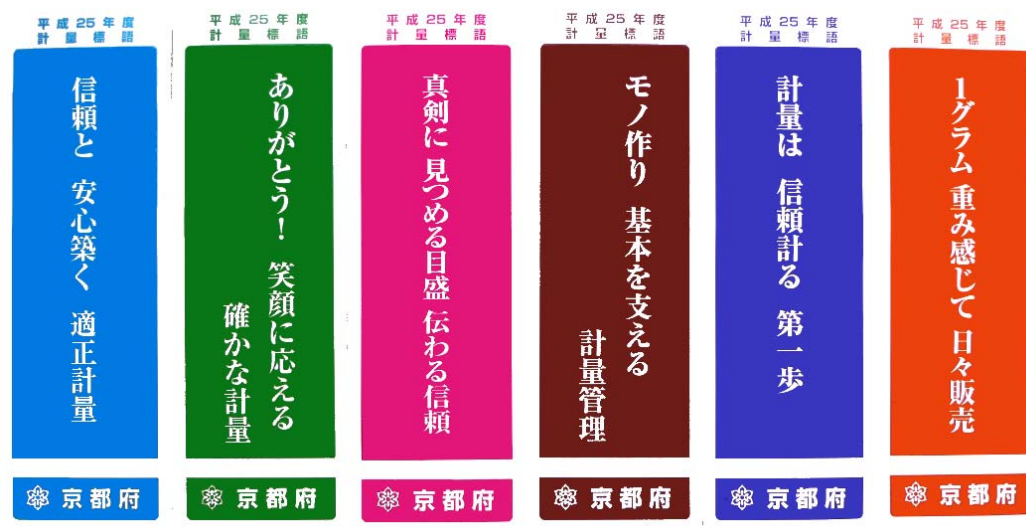
- (1) 計量法の概要、商品量目について（河村主幹）
- (2) ISO9001 は計量・計測について何を要求しているか（吉川理事）
- (3) 計量・計測の基本と精度（不確かさ）について（河原部会長）

(2) 計量標語募集と入選作選定

計量管理部会主催で適正管理事業所を対象に「平成 25 年度計量標語」を募集、製造と流通関連の適正管理事業所 12 社から 101 句の応募があった。

平成 25 年 8 月 7 日開催の計量管理部役員会で京都府計量検定所小中所長の参加を得て審査員 11 名の投票結果を元に最終選考を行い、平成 25 年度計量標語優秀作 6 点と佳作入選作 16 点を選考した。

入選作は以下のとおりである。なお、京都府計量検定所が実施する平成 25 年度「計量月間」事業の一環として、優秀作 6 点はステッカー化され、府内事業所に配布された。



4-3. 計量証明部会

(1) 平成 25 年度主任計量者講習会（於京都府計量検定所）

8 月と 2 月の二回実施し都合 18 名の受講者があった。5 年毎の受講が義務付けられており、計量の基礎講習から計量証明書発行の必要な事柄まで細かく講義される。最近は、疑問点など質問される方が多くなってきている。

終了後受講者には修了証が授与された。

講師：京都府計量検定所指導課 東氏および当協会 河原計量士

(2) かわら版発行

24、25 号を 6 月と 11 月に発行した。

「適正計量推進宣言」ポスターを作成し全事業所に配布すると共に、かわら版においても計量証明書の必要事項の徹底を図り適正計量の推進を掲載した。また、以前の事業所用看板をフィルムステッカーに一新して配布した。

(3) 通常総会

4 月 25 日に京都センチュリーホテルで開催。

京都府計量検定所の小中所長、当協会の木村理事長が来賓として出席された。

議事	1 号議案	平成 25 年度事業報告
	2 号議案	(1)平成 24 年度収支決算の承認、(2)会計監査報告
	3 号議案	剰余金処分 (案)
	4 号議案	任期満了に伴う役員人事改選
	5 号議案	平成 25 年度事業計画 (案)
	6 号議案	平成 25 年度収支予算 (案)

すべての議案が承認され、総会終了後懇親会を開催した。

(4) 理事会の開催（4 月、12 月、3 月の 3 回）

主な議題は、年間行事予定の実施内容報告、昨年度に不正計量発覚を受け、会則の一部改正を審議、また上期事業経過、来期後任人事等を審議し承認された。

- (5) 京滋合同役員会の開催（平成 25 年 7 月 16 日、於木乃婦（京都））
滋賀県からは 6 名の参加、京都は、小中京都府計量検定所所長、当協会の木村理事長を含む 13 名が出席し、不正計量発覚の経過説明等が話し合われた。
- (6) (一社)京都府計量協会関係
社員総会には 3 名出席、理事会には増田会長、澤田副会長、村上事務局長が理事として、4 回出席した。
また、計量工業部会と環境証明部会共催の三重県への見学会（㈱東海テクノ、秤乃館）に 3 名参加し、帰路には伊勢神宮を参拝し総勢 33 名の出席者と交流を図った。
近畿計量大会が滋賀県大津市で開催され、式典では近畿計量協議会会長からの感謝状贈呈、元計量教習所の内川氏と元大蔵大臣の武村氏記念講演があり約 200 名の出席であった。次年度開催の京都を代表して木村理事長が挨拶、終了後懇親会が開催された。証明部会からは 6 名が参加した。
- (7) 日本計量証明連合会関係
5 月に有馬で開催、3 名が出席し、澤田副会長、山本副会長が会長表彰された。また、11 月には毎年京都で理事会を京都ハートンホテルで開催。会計報告、役員補欠の選任、規約の一部改正、各表彰者の選考等が審議された。
増田日計証連理事として、山本代議員として、また当日の受付事務として村上事務局長が出席した。

4-4. 環境計量証明部会

- (1) 平成 24 年度共同実験総合討論会
開催：平成 25 年 4 月 24 日、於ユニチカ(株)宇治事業所
参加者：討論会 41 名、交流会 30 名（滋賀県含む）
共同実験参加機関：14 機関（京環協 8 機関、滋賀県単 6 機関）
来賓：京都府計量検定所 指導課 河村主幹
京都府保健環境研究所 蒲水質課長
京都府中小企業技術センター 基盤技術課 関主任研究員
京都府中小企業技術センター 基盤技術課 渡部技師
京都市衛生環境研究所 環境部門 中川担当課長
共同実験テーマ：底質調査方法による含有量試験（ふっ素、鉛）
討論会終了後、交流会を開催し、若手を中心に親睦を深めた。
- (2) 平成 25 年度共同実験
・ 第 1 回委員会
開催：平成 25 年 12 月 6 日、於京都府中小企業技術センター
議題：共同実験 実施説明会
テーマ：一般細菌、大腸菌群数、大腸菌
出席者：13 機関 19 名（京環協：6 機関、滋賀県単：7 機関）
- (3) 第 38 回環境計量士交流会
開催：平成 25 年 6 月 5 日、於ルビノ京都堀川、出席者 44 名
来賓ならびに来賓祝辞：
京都府計量検定所 指導課 河村主幹（祝辞）
京都府計量検定所 指導課 東主査
京都府中小企業技術センター 基盤技術課 松田課長（祝辞）
テーマ：講演Ⅰ：「日本の貨幣の歴史について」
講師：(独)造幣局 元博物館長 塩川幸男様
講演Ⅱ：「検定所からの連絡事項」
講師：京都府計量検定所 指導課 主幹 河村眞也様
終了後、懇親会（参加者 39 名）を開催し懇親を深めた。

(4) 第 39 回環境計量士交流会

開催：平成 26 年 1 月 9 日、於ルビノ京都堀川、出席者 43 名

来賓ならびに来賓祝辞

京都府計量検定所 小中所長（祝辞）

京都府計量検定所 指導課 河村主幹

京都市計量検査所 西村所長（祝辞）

テーマ：講演Ⅰ：「検定所からの連絡」

講師：京都府計量検定所 指導課 主幹 河村真也様

講演Ⅱ：「国宝平等院の改修工事」

講師：平等院住職 神居文彰様

終了後、新年互礼会（参加者 36 名）を開催し、懇親を深めた。

4-5. 計量士部会

(1) 計量思想普及事業を推進するため下記の事業を実施した。

1) 京都府、京都市の計量行政施策の事業に、次の協力を行った。

i) 「夏休み親子計量教室」（平成 25 年 8 月 1 日～7 日、京都府計量検定所と京都市計量検査所共催）に協力参加（部会および事務局から 5 名）。

ii) 京都府の平成 25 年度「計量月間」計量標語の募集・選考に、計量管理部会と共に優秀作・佳作 22 点を選考し、優秀作 6 点を府に推薦した。（平成 25 年 8 月 7 日選考委員会開催）

2) 計量管理部会主催「計量・計測業務担当者のための研修会」の開催運営に協力し、講師を務めた。（平成 25 年 7 月 26 日、於ハートピア京都、受講者 24 名）

講師：京都府計量検定所 河村主幹、計量士部会 2 名

テーマ：「計量法の概要、商品量目について」（講師：京都府計量検定所）

「ISO-9001 は計量・計測について何を要求しているか」（講師：部会員）

「計量・計測の基本と不確かさについて」（講師：部会員）

3) (一社)日本計量振興協会と当協会共催の「中小企業向け測定基礎研修会」を計量士部会が主体で運営し講師を努めた。製造業等の中小企業への『測定技術の実務教育および計量管理の普及』を目的とした研修会で、平成 25 年 7 月 26 日（於ハートピア京都、受講者 28 名）と平成 26 年 3 月 8 日（於ハートピア京都、受講者 13 名）の 2 回開催された。内容は、測定の基礎、ノギス、マイクロメータ、ゲージ類、質量とはかり、温度と熱電対・測温抵抗体、ISO-9001 と計量管理である。

4) 協会理事長表彰に計量功労者を推薦し、授与された（品川 鎮氏）。

5) 京都府計量功労者等表彰への候補者を推薦し、授与された（源田幹雄氏）。

(2) 部会総会および部会役員会を開催し事業計画・予算・運営実施事項の検討、協議を行った。

1) 平成 25 年度第 1 回役員会開催（平成 25 年 4 月 17 日）

- ・平成 24 年度事業報告と決算案の検討
- ・平成 25 年度事業計画と予算案の検討
- ・平成 25 年度定時部会総会次第等の検討
- ・夏期例会テーマ等の検討

2) 平成 25 年度計量士部会定時総会開催（平成 25 年 5 月 11 日、出席会員 30 名、委任状 19 名）

- ・平成 24 年度事業報告、平成 24 年度決算報告
- ・平成 25 年度事業計画、平成 25 年度予算の審議と議決
- ・懇親会（参加者 22 名）

3) 平成 25 年度第 2 回役員会開催（平成 25 年 10 月 9 日）

- ・冬期例会の日程・内容についての検討、
- ・「中小企業向け測定基礎研修会」の開催状況報告と日計振からの事務連絡の報告および本年度 2 回目開催の検討

- ・「分銅校正または、はかりの校正講習会」開催日程と内容の検討
- ・親子計量教室等の府市への協力状況と今後の予定について
- ・日計振の計量士関係施策の状況報告と例会話題への採択
- ・近畿計量大会の参加について

4) 平成 25 年度第 3 回役員会開催（平成 26 年 1 月 17 日）

- ・「分銅の自主校正講習会」開催準備の打合せ
- ・「中小企業向け測定基礎研修会」開催準備の確認
- ・「全国計量士大会」の内容について
- ・新年度部会総会の日程検討
- ・平成 26 年度総会の準備開始と平成 26 年度第 1 回役員会日程の検討

(3) 計量士部会例会の開催

部会々員相互の技術等の情報交換と親睦を深めるため、夏期例会（定時部会総会と併催）および冬期例会を開催した。

1) 夏期例会（定時部会総会に続いて開催）（平成 25 年 5 月 11 日、出席会員 30 名）

- ・来賓祝辞、
- ・講演・情報交換（参加者 33 名）
 - ・「第 11 回全国計量士大会」の報告
 - ・「中小企業向け測定技術研習会」の平成 24 年度の開催状況報告
- ・懇親会（参加者 22 名）

2) 冬期例会（平成 25 年 12 月 6 日、出席会員 30 名）

- ・来賓祝辞、
- ・会務報告と今後の予定の報告、
- ・講演・情報交換（参加者 33 名）
 - ・講演「薬局方における天びんの精度と USP 改正の動向」
 - ・報告「中小企業向け測定技術研習会開催動向と中小企業庁施策動向」
- ・市検査所長様 講演「京都市計量モニターの活動状況について」
- ・懇親会（参加者 22 名）



(4) 計量士の技術向上を図り計量管理知識を深めるため、下記の講習会・勉強会を開催した。

1) 分銅の自主校正講習会（平成 26 年 2 月 7 日、於ハートピア京都、受講者 19 名（西日本の他府県からも参加あり）、講師・スタッフ：部会員 5 名）

ISO-9001 等の品質システムで要求されるトレーサビリティ性を確保できる「分銅の自主校正方法」の講習。事業所等の一般的な環境での校正の不確かさを知るための不確かさ評価方法についての講義、および測定手順と計算処理手順の実習を行った。

2) 受託業務従事計量士研修会（日計振りフレッシュ講習会：平成 25 年 9 月 21 日、於メルパルク京都、参加者：嘱託計量士 20 名）

講習内容：計量法令、ISO9001 と計量管理、商品量目の管理、計量計測トレーサビリティ制度の概要、非自動はかりの使用・検査

3) 受託業務従事計量士研修会（平成 25 年 12 月 6 日、参加者：嘱託計量士 20 名）

- はかり研修会（於㈱インダ本社）：
 - ・非自動はかりの定期検査（講師 宇都宮道人氏）
 - ・3 級非自動はかりの定期検査の方法（講師 吉永計量士）
 - ・3 級非自動はかり等展示機器を利用した検査方法実習
- 計量法勉強会（於京都平安ホテル）：計量法規と定期検査（講師 清水計量士）

(5) (一社)日本計量振興協会主催の第 12 回全国計量士大会（平成 26 年 2 月 28 日、於インターコンチネンタル東京ベイ）に参加（部会員 3 名）した。

「これからの計量計測活動」をメインテーマに 3 つの事例発表が行われた。

- ・ トヨタ自動車における計量管理と計量士への期待（大竹英世氏）
 - ・ 製薬会社における計量管理と求められる計量士（竹添雅雄氏）
 - ・ 飲料品メーカーでの経験とこれからの計量士像（小野威氏）
- (6) (一社)京都府計量協会主催の平成 26 年年賀交歓会（平成 26 年 1 月 8 日、於リーガロイヤルホテル京都）に参加（部会員 14 名、含所属重複）、行政、他部会、他府県関係者との情報交換をすると共に親睦を深めた。
- (7) 計量器工業部会と環境計量証明部会共催の平成 25 年度見学会（平成 25 年 10 月 17 日、三重方面へ見学バスツアー
訪問先: 榑東海テクノ、秤乃館、伊勢神宮）に計量士部会から 6 名参加。

5. 社員（会員）数の推移

部会名	平成 26 年 4 月 1 日現在	入会	退会	平成 25 年 4 月 30 現在
計量器工業部会	30	0	0	30
計量管理部会	適管	1	4	43
	販売	0	1	138
計量証明部会	43	0	0	43
環境計量証明部会	18	1	2	19
計量士部会	62	9	2	55
計	329			328

6. 平成 25 年度開催理事会

第一回理事会：平成 25 年 5 月 15 日

- 1) 平成 25 年度総会議案書承認、
- 2) 平成 25 年度理事長表彰推薦者選考、
- 3) 平成 25～平成 26 年度役員改選案、
- 4) 定款一部改訂、
- 5) 新入会員承認、
- 6) 事業運営会費廃止と一部給与改定

平成 25 年度臨時理事会：平成 25 年 6 月 21 日

- 1) 代表理事選任

第二回理事会：平成 25 年 10 月 23 日

- 1) 平成 25 年上期損益と下期計画、
- 2) 平成 25 年上期臨時手当、
- 3) 奨学金運用、
- 4) 平成 25～平成 26 年度コンプライアンス委員選任

第三回理事会：平成 25 年 12 月 25 日

- 1) 平成 26 年度近畿計量大会（京都）準備、
- 2) 日計振全国大会参加支援と出席者選考、
- 3) 消費税アップ額試算

平成 25 年度臨時理事会：平成 26 年 1 月 8 日

- 1) 新入会員承認

第四回理事会：平成 26 年 3 月 13 日

- 1) 平成 25 年度収支決算見込み、
- 2) 平成 26 年度事業計画案、
- 3) 京都市事前調査業務受け入れ、
- 4) 近畿計量大会（京都）事前準備、
- 5) 環境、全国自治体への要望書承認、
- 6) 新入会員承認、
- 7) 平成 26 年度協会組織と運営